

2023 年度事業報告書

1. はじめに

2023 年度の我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症からの脱却により正常化が大幅に進みました。当工業会が属する鉄鋼業界におきましては、自動車関連では半導体不足解消に伴い回復がみられたものの、建設分野では人手不足や資源高による工事の見直しなどにより需要が減少したことで、国内粗鋼生産量は 2 年連続で減少し、9 千万トンを割り込む 8,682.8 万トン(前年度比▲1.1%)となりました。

一方で、昨年度の日本の鉄スクラップ価格は、海外市況や国内メーカーの輸出対抗措置、そして為替の影響を色濃く受けましたが、年間平均としては約 50,000 円前後で推移し、変動幅が少ない年となりました。引き続き過去と比較して高値圏と言えますが、2050 年のカーボンニュートラル実現に向け鉄スクラップの重要性が増す中、今後も現在の状況から大きな変化はないと見る向きもあります。

日本鉄リサイクル工業会は、2022 年度より取り組む方向性を以下の通り 4 つに整理し、2023 年度も積極的に活動を継続し、相応の実績を達成したと考えます。

- I. 全国 7 支部 8 委員会を通じて会員企業の現状と抱えている課題の把握
- II. 課題解決に向けた方策の検討と対応策の実施
- III. 鉄スクラップの国内循環促進についての行政や関連団体との議論・協議
- IV. 鉄リサイクル業の社会的認知度向上に向けた各種情報発信

2023 年 6 月には熊本において全国大会を開催し、また各種会議においてはオンラインやハイブリッド形式をフルに活用し、積極的な活動を繰り広げました。

会員企業の抱える大きな課題の一つである不適正ヤードへの対応として、「適正ヤード推進委員会」を 5 月に発足させ 3 回の委員会を開催しました。委員会では、鉄鋼業界、関係省庁と連携しつつ、不適正ヤードの是正や公平な競争環境を構築すべく適正な操業に向けて業界気運の向上に努めました。

また、2023 年度の新規入会企業は 60 社と今までにないほどの企業の方々にご入会いただきました。特に、鉄スクラップの国内循環の促進を図るべく、製鉄メーカーには賛助会員として多くの入会をいただき(粗鋼生産ベースで日本の 9 割強)、新年会等の場で積極的な交流を図ることができました。

2023 年度の具体的な事業活動につきましては以下をご参照頂きますが、会員各位の日頃のご支援、ご協力に関し、此処に改めて御礼を申し上げます。

2. 事業概要

<主要取り組み事業>

I. 会員企業の現状と抱えている課題の把握

(1)「委員会、支部、部会の各種活動の活性化と連携強化」

当工業会が直面する諸課題についてタイムリーに把握・集約し、会員の意見等を十分に踏まえた的確な対応を図るために、運営委員会の開催時に各支部長ならびに委員会委員長から会員各社の現状や抱えている課題の把握に努め、課題解決に向けた対応が図られるよう検討を行いました。

加えて、支部・部会においても、独自の講演会・勉強会・研修会の開催や、個別ニーズに応じた独自組織の運営等を行った他、本部・関係委員会との連携強化を図りました。

II. 課題解決に向けた方策の検討と対応策の実施

III. 鉄スクラップの国内循環促進についての行政や関連団体との議論・協議

IV. 鉄リサイクル業の社会的認知度向上に向けた各種情報発信

上記Ⅱ～Ⅳに向けた2023年度の各委員会活動の主な概要は、以下の通りです。

<総会、理事会及び委員会活動>

(1)第48回通常総会(2023年6月16日(金) 於:ホテル日航熊本)

第1号議案 議事録署名人選任の件

第2号議案 2021年度決算報告書修正(案)承認の件

第3号議案 2022年度事業報告書(案)承認の件

第4号議案 2022年度決算報告書(案)承認の件

第5号議案 2023年度事業計画書報告の件

第6号議案 2023年度予算書報告の件

第7号議案 議事事項について、その趣旨に反しない範囲において字句の修正を会長に委任の件

(2)理事会(4回)

◆第172回理事会(2023年5月23日)【ハイブリット開催】

[報告事項]

- (1)代表理事及び業務執行理事の業務執行状況の報告
- (2)各支部の活動報告・直近のトピックス及び各委員会の活動状況の報告
 - ①第33回全国大会(九州支部主管)開催の準備状況
 - ②環境PR関係への対応状況
 - ③会長会見の開催について
- (3)メーカーの賛助会員化
- (4)その他

[審議事項]

- (1)2022年度事業報告書(案)及び決算報告書(案)
- (2)2023年度予算書の修正(案)
- (3)感謝状、表彰状贈呈候補者(案)
- (4)第48回通常総会議題(案)について
- (5)委員長ならびに委員交代(案)について
- (6)「適正ヤード推進委員会(仮称)」の設置について(案)
- (7)その他

◆臨時理事会(2023年9月26日)【ハイブリット開催】

[報告事項]

- (1)各支部の活動報告・直近のトピックス及び各委員会の活動状況の報告
- (2)「適正ヤード推進委員会」の検討状況について
- (3)メーカーの賛助会員化の働きかけ状況について
- (4)普通鋼電炉工業会との懇談会(7月10日開催)について
- (5)会長会見の開催について
- (6)その他

[審議事項]

- (1)表彰状授与に関する当面の対応方針について(案)
- (2)サーキュラーエコノミー(CE)パートナーシップ参加への対応方針(案)
- (3)2024年新年賀詞交歓会の開催要領について(案)
- (4)環境対策委員会(当時)傘下の「光継者会活動費」残金の今後の取扱いについて(案)
- (5)改正高齢者雇用安定法施行に伴う就業規則の一部改正(案)について
- (6)委員交代について(案)
- (7)その他

◆第173回理事会(2023年11月29日)【ハイブリット開催】

[報告事項]

- (1)代表理事及び業務執行理事の業務執行状況の報告
- (2)各支部の活動報告・直近のトピックス及び各委員会の活動状況の報告
 - ①各支部2024年新年賀詞交歓会の開催日時
 - ②第34回全国大会(中部支部主催)開催の準備状況
- (3)「適正ヤード推進委員会」の検討状況について
- (4)製鉄メーカーの賛助会員化の働きかけ状況について

- (5)経産省・伊吹製造産業局長との面談(10月17日開催)
- (6)サーキュラーエコノミー(CE)パートナーシップ会合関連
- (7)その他
普通鋼電炉工業会との懇談会開催(12月6日)

[審議事項]

- (1)2023年度中間決算(案)について
- (2)2024年新年賀詞交歓会の開催要領について(案)
- (3)その他

◆第174回理事会(2024年3月26日)【ハイブリット開催】

[報告事項]

- (1)代表理事及び業務執行理事の業務執行状況の報告
- (2)各支部の活動報告・直近のトピックス及び各委員会の活動状況の報告
 - ①能登半島地震の被災会員(石川県: (株)金沢柿田商店)へのお見舞いについて
 - ②第34回全国大会(中部支部主管)開催の準備状況
 - ③「金属リサイクル伝票」の電子化に向けた検討状況と今後の対応について
- (3)「適正ヤード推進委員会」の検討状況
- (4)メーカーの賛助会員化
- (5)普通鋼電炉工業会との懇談会開催(2023年12月6日)について
- (6)2024年物流問題に関する日本鉄鋼連盟からのアンケート調査について
- (7)「サーキュラーエコノミーに関する産官学のパートナーシップ」関連会合について
- (8)その他

[審議事項]

- (1)2024年度事業計画(案)及び2024年度収支予算(案)について
- (2)委員交代
- (3)その他

(3)運営委員会

<委員会活動・事業>

運営委員会は他の委員会の総括委員会に位置付けられており、当工業会の運営等全般に関する諸案件について対応。

- (1)工業会の事業計画、事業報告及び予決算に係る事項の検討
- (2)工業会の基本方針、コンプライアンスに係る事項の検討
- (3)各支部、委員会活動の調整、支援に係る事項の検討
- (4)関係省庁、関係団体との折衝、連携に係る事項の検討

<委員会開催>(4回)

◆2023年度第1回運営委員会(2023年5月10日)【ハイブリット開催】

[報告事項]

- (1)各支部の活動報告・直近のトピックス及び各委員会の活動状況の報告
 - ①第33回全国大会(九州支部主管)開催の準備状況
 - ②環境PR関係への対応状況

③会長会見の開催について

- (2)メーカーの賛助会員化
- (3)その他

[審議事項]

- (1)2022 年度事業報告書(案)及び決算報告書(案)
- (2)2023 年度予算書の修正(案)
- (3)感謝状、表彰状贈呈候補者(案)
- (4)第 48 回通常総会議題(案)について
- (5)委員長ならびに委員交代(案)について
- (6)「適正ヤード推進委員会(仮称)」の設置について(案)
- (7)その他

◆2023 年度第 2 回運営委員会(2023 年 9 月 5 日)【ハイブリット開催】

[報告事項]

- (1)各支部の活動報告・直近のトピックス及び各委員会の活動状況の報告
- (2)「適正ヤード推進委員会」の検討状況について
- (3)メーカーの賛助会員化の働きかけ状況について
- (4)普通鋼電炉工業会との懇談会(7 月 10 日開催)について
- (5)会長会見の開催について
- (6)その他

[審議事項]

- (1)表彰状授与に関する当面の対応方針について(案)
- (2)サーキュラーエコノミー(CE)パートナーシップ参加への対応方針(案)
- (3)2024 年新年賀詞交歓会の開催要領について(案)
- (4)環境対策委員会(当時)傘下の「光継者会活動費」残金の今後の取扱いについて(案)
- (5)改正高齢者雇用安定法施行に伴う就業規則の一部改正(案)について
- (6)委員交代について(案)
- (7)その他

◆2023 年度第 3 回運営委員会(2023 年 11 月 21 日)【ハイブリット開催】

[報告事項]

- (1)各支部の活動報告・直近のトピックス及び各委員会の活動状況の報告
 - ①各支部 2024 年新年賀詞交歓会の開催日時
 - ②第 34 回全国大会(中部支部主催)開催の準備状況
- (2)「適正ヤード推進委員会」の検討状況について
- (3)メーカーの賛助会員化の働きかけ状況について
- (4)経産省・伊吹製造産業局長との面談(10 月 17 日開催)
- (5)サーキュラーエコノミー(CE)パートナーシップ会合関連
- (6)その他
 - 普通鋼電炉工業会との懇談会開催(12 月 6 日)

[審議事項]

- (1)2023 年度中間決算(案)について
- (2)2024 年新年賀詞交歓会の開催要領について(案)
- (3)その他

◆2023 年度第 4 回運営委員会(2024 年 3 月 12 日)【ハイブリット開催】

[報告事項]

- (1) 各支部の活動報告・直近のトピックス及び各委員会の活動状況の報告
 - ① 第 34 回全国大会(中部支部主催)開催の準備状況
- (2)「適正ヤード推進委員会」の検討状況
- (3)その他
 - ①メーカーの賛助会員化について
 - ②普通鋼電炉工業会との懇談会開催(2023 年 12 月 6 日)について
 - ③2024 年物流問題に関する日本鉄鋼連盟からのアンケート調査について
 - ④「サーキュラーエコノミーに関する産官学のパートナーシップ」の立ち上げイベント・第 1 回総会及び「サーキュラーパートナーズ・ビジョンロードマップ検討 WG(第 1 回)」について

[審議事項]

- (1)2024 年度事業計画(案)及び 2024 年度収支予算(案)について
- (2)能登半島地震の被災会員(石川県:(株)金沢柿田商店)へのお見舞いについて(案)
- (3)「金属リサイクル伝票」の電子化にむけた検討状況と今後の対応について(案)
- (4)委員交代
- (5)人事案件
- (6)その他

(4)財務委員会

<委員会活動・事業>

- (1)支部、部会を含めた工業会全体の財務状況把握、在り方の検討。
- (2)一般社団法人としての会計基準に基づく適正な予決算の実施。

<委員会開催>(3回)

◆2023 年度第 1 回財務委員会(2023 年 5 月 8 日)【ハイブリッド開催】

- (1)2022 年度決算(案)について
- (2)2023 年度予算(案)修正について
- (3)その他

◆2023 年度第 2 回財務委員会(2023 年 11 月 17 日)【ハイブリッド開催】

- (1)2023 年度中間決算(案)について
- (2)その他

◆2023年度第3回財務委員会(2024年3月6日)【ハイブリッド開催】

- (1)2024年度財務委員会の予算(案)について
- (2)2024年度予算(案)について
- (3)その他

(5)商社流通委員会

＜委員会活動・事業＞

鉄スクラップの国内流通や輸出に係る全般的な情報を収集・発信することによる工業会活動支援。鉄スクラップ流通に係る諸問題(カーボンニュートラル、品質向上等)に関し協議し、会員へ発信することによる工業会活動支援。

＜委員会開催＞(1回)

◆2023年度第1回商社流通委員会(2024年1月31日)

- (1)委員長プレゼンテーション「世界スクラップ需給分析」
- (2)適正ヤード推進委員会について
- (3)物流2024年問題について

(6)業務対策委員会

＜委員会活動・事業＞

(1)労働安全衛生講習の動画配信

講師:産業振興(株)安全環境防災部長

講習テーマ:①応急手当②自然災害に備えて③玉掛け災害防止

(2)会員への労働安全衛生活動支援

①労働安全衛生対策関連の情報の提供

中災防機関誌より特集記事をHP会員ページへ掲載等(毎月)

①危険体験学習会を開催(2023年9月21日(木)参加者17名(うち報道関係者3名)

於:MC興産(株)宇都宮・真岡製作所内

②労働安全ポスターを作成・配布。標語として「今日も一日ご安全に」を選定。(2023年12月)

③過積載防止ポスターの作成、配布し、会員各社への啓発と注意喚起を実施。(2023年12月)

⑤2023年版「過積載ポスターの塗り絵コンテスト」を実施、57応募作品の中から1位から3位までを表彰。

(3)業界独自の労働災害・事件事例の収集調査を実施(2023年10月)

(4)東京海上日動火災保険(株)主催「ハラスメント防止ウェブセミナー」を開催(2023年10月)

(5)(株)経営承継支援主催「事業承継オンラインセミナー」を開催(2023年11月)

(6)災害団体保険の更新内容の検討、加入者募集(2023年3月)

(7)適正な鉄スクラップ回収処理に資する対応
「金属リサイクル伝票の電子化」に向けた検討を継続して実施

<委員会開催> (3回)

◆2023年度第1回業務対策委員会(2023年8月3日)【ハイブリット開催】

(1)2023年度事業計画への具体的取組みについて

- ①委員長ならびに委員交代について
- ②労働安全衛生講習の動画作成、配信(会員向けHP掲載)
- ③危険体験学習会の開催について
- ④労働災害・事件事例調査の実施について
- ⑤安全ポスター及び過積載防止ポスターの制作について
・2023年版「過積載ポスター」の塗り絵コンテストの実施について
- ⑥「鉄リサイクル事業のマニュアルブック」改訂(2023年版)、「労働安全衛生関連資料の改訂」(2023年版)の発刊について
- ⑦金属リサイクル伝票の電子化に向けた検討状況と今後の対応について(案)
- ⑧東京海上日動火災保険(株)「ハラスメントセミナー」(Web)の開催について
- ⑨その他

(2)情報交換

◆2023年度第2回業務対策委員会(2023年10月25日)【ハイブリット開催】

(1)2023年度事業計画への具体的取組みについて

- ①労働安全衛生講習の動画作成、配信(会員向けHP掲載)
- ②安全ポスター及び過積載防止ポスターの制作について
- ③金属リサイクル伝票の電子化に向けた検討状況と今後の対応について(案)
- ④(株)経営承継支援主催「事業承継オンラインセミナー」の開催について
- ⑤危険体験学習会の開催について
- ⑥東京海上日動火災保険(株)「ハラスメントセミナー」(Web)の開催について
- ⑦労働災害・事件事例調査について
- ⑧次回会合について

(2)情報交換

◆2023年度第3回業務対策委員会(2024年2月2日)【ハイブリット開催】

(1)2023年度事業計画への具体的取組みについて

- ①団体保険(施設賠償、労働災害総合、VIP)の契約更新について
- ②2024年度事業計画(案)及び予算(案)について
- ③「金属リサイクル伝票」の電子化にむけた今後の対応方針(案)について

- ④ 2023 年度労働災害・事故事例調査の結果について(報告案件)
 - ⑤ 2023 年版「過積載ポスターの塗り絵コンテスト」の選考について
 - ⑥ 2023 年度労働安全衛生講習の動画作成、配信（会員向け HP 掲載)(報告案件)
 - ⑦ その他
- (2) 情報交換

(7)環境委員会

<委員会活動・事業>

(1) 鉄リ会員各社向け CO₂ 削減施策の提案（ガイドブックのコンテンツ作成）

会員各社向けに CO₂ 削減ガイドブックを制作、配布する事業計画に基づき諸準備を進めてきた。昨年度環境委員会数社に対してサンプリング的に省エネ診断を実施頂いた一般財団法人省エネルギーセンターに協力を依頼し原稿作成を行った。その後、当会会員がより理解しやすい内容に再編集することが必要となり、記載内容の検証、咀嚼作業を行った。2024 年度内に CO₂ 削減ガイドブックを完成させ、会員各位へ配布する予定。

(2) 鉄スクラップの環境価値の認証取得の可能性についての検討

鉄スクラップの環境価値（鉄スクラップ 1 トンの再利用により鉄鋼製造 1 トンあたり CO₂ 1.39 トン削減に貢献）について、第三者評価機関による正式な認証取得が可能か否かについて検討を行った。認証機関と意見交換を行った結果、環境ラベルの認証取得は、原則として単一製品のみでの環境影響評価を検証した結果の認証であることから、2 種類（鉄鉱石由来製品、スクラップ由来製品）の環境影響評価の差分値を対象として同一のラベル内で認証することは難しいとの結論を得た。

(3)2023 年度環境委員会主催「定例講演会」

今年度は、より多くの会員の皆様に御覧頂けることを考慮して、事前録画した講演動画(3 本)を期間限定(2024 年 3 月 11 日(月)～3 月 22 日(金))で YouTube にて会員に公開することとした。

【講演①】

「金属リサイクル業の中長期展望について ～スクラップの環境価値を経済価値にどう変えられるか～」

講師：アーサー・デイ・リトル・ジャパン株式会社
シニアコンサルタント 永長正丈 様

【講演②】

「川崎の町工場が挑む脱炭素社会へのイノベーション ～2030 年カーボンニュートラルを目指し新時代のものづくり企業を創造する～」

講師：日崎工業株式会社 CEO 三瓶 修 様

【講演③】

「日本の資源循環経済政策について～サーキュラーエコノミー加速に向けた取り組み～」

講師：経済産業省資源循環経済課 総括課長補佐 吉川泰弘 様

<委員会開催> (3回)

◆2023年度第1回環境委員会 (2023年7月28日) 【ハイブリッド開催】

- (1) 本年度事業計画の進捗状況
- (2) 「鉄スクラップの環境価値」のPR展開について
- (3) 環境対策委員会 (当時) 傘下「光継者会」活動費 残金の取り扱いについて
- (4) 情報交換、事務局からの連絡事項

◆2023年度第2回環境委員会 (2023年12月14日) 【ハイブリッド開催】

- (1) 本年度事業計画の進捗状況
- (2) 鉄スクラップ環境価値の外部認証について
- (3) 鉄スクラップ環境価値ロゴの商標登録について
- (4) 次年度事業計画について意見交換
- (5) 事務局からの連絡事項

◆2023年度第3回環境委員会 (2024年2月16日) 【ハイブリッド開催】

- (1) 本年度事業計画の進捗状況
- (2) 2024年度事業計画案について
- (3) 茨城県における再生資源物保管条例について
- (4) 情報交換、事務局からの連絡事項

(8) 広報委員会

<委員会活動・事業>

(1) 鉄スクラップの環境価値 CO₂ マイナス 1.39 t の PR 活動

- 関東、中部、関西支部の第48回通常大会 (5月開催)、第33回全国大会(九州支部主管) (6月16日開催) において鉄スクラップの環境価値のPRを実施。ロゴマーク、ポスターならびにピンズ制作・配布及びピンズの追加購入募集、PR動画の制作、上映等。
- 鉄スクラップの環境価値PRポスター2種類、三角POPを制作、全会員に配布。
- 工業会ホームページの会員ページ内に各種PRツールを掲載した「日本鉄リサイクル工業会 オフィシャルアーカイブ」を開設。会員各社が適宜必要なコンテンツをダウンロードし各社のPRに利用。
- 産業新聞及び鉄鋼新聞 (2023年6月30日付) に全面PR広告を掲載、「週刊エコノミスト」 (2023年9月25日発売号、2024年3月25日発売号) 裏表紙にPR広告「活かして、へらす」を掲載。
- 鉄スクラップの環境価値 CO₂ マイナス 1.39 t ロゴマークの商標登録を特許庁に申請し国内において独占排他的に使用できる権利を確保、商標登録証を受

領。出願日：2023年4月18日、登録日：2023年11月16日（期間は10年）。

●2024年1月9日～15日、日本経済新聞電子版（PC版）にCO₂マイナス1.39tイメージイラスト4種類を掲載。

(2) 木谷会長 定例記者会見

理事会終了後に業界紙記者による木谷会長 定例記者会見を実施。

<2023年9月26日、11月29日、2024年3月26日／計3回実施>

(3) 業界紙記者による市況解説動画を制作、工業会ホームページ掲載

<2023年5月、7月、8月、11月、12月、2024年3月／計6回実施>

(4) 第19回新発見セミナー21 実施

2024年3月15日～16日、北九州市小倉にて開催。参加会員37名。

日本製鉄株式会社九州製鉄所八幡地区（戸畑）を見学。

(5) 鉄リサイクルニュース発行

194号（2023年8月22日発行）

主要記事：第48回通常総会・第33回全国大会（九州支部主管）開催

195号（2024年2月29日発行）

主要記事：令和6年新年会開催

(6) 会長と業界紙各社との2024年新春インタビュー実施（2023年12月6日）

(7) 当工業会、官公庁からの周知依頼事項等各種情報を発信、HP掲載

(8) 2024年工業会カレンダーの作成・配布

<委員会開催> （2回）

◆2023年度第1回広報委員会（2023年8月7日）

(1) 今年度の委員会事業について

(2) 鉄リサイクルニュース194号掲載記事について

(3) 情報交換

◆2023年度第2回広報委員会（2024年2月20日）【ハイブリッド開催】

(1) デイリースポーツ案内広告社によるPR事業の提案

(2) 2024年度事業計画・予算案について

(3) 鉄リサイクルニュース195号発行について（2024年2月末日発行予定）

(4) 第19回新発見セミナー21の件

(5) 委員長交代について

(6) その他

(9) 国際ネットワーク委員会

<委員会活動・事業>

(1) 米国、欧州で開催されたカンファレンス(ISRI、BIR)に参加し、グローバルな業界動

向やカーボンニュートラルの状況等について情報収集を行った。

(2)CAMU(中国廃鋼鉄応用協会)の定例国際会議において、委員長より「日本の鉄スクラップ」と題した講演を行った。

(3)KOSA(韓国鉄鋼協会)及び KOSIA(韓国鉄鋼資源協会)と韓国ソウルにて「日韓鉄スクラップ交流会」を開催し、日韓両国の鉄スクラップ・鉄鋼に係る有意義な情報交換を行った。

<委員会開催> (2回)

◆2023年度第1回国際ネットワーク委員会(2023年7月5日)

(1)林誠一氏によるセミナー「世界と東アジアの鉄スクラップ需給について」

(2)カンファレンス出席レポート

(3)日中韓交流会について

◆2023年度第2回国際ネットワーク委員会(2024年3月18日)

(1)2024年度以降の委員会活動について

(10)自動車リサイクル法委員会

<委員会活動・事業>

(1)自り法全般に関する運用状況把握及び関係省庁、関係機関との協議。

特に、マテリアルリサイクル促進及びASR削減に向けた素材回収インセンティブ制度に関する関係省庁・関係機関との協議・工業会内への情宣。

(2)環境省主導の「自動車リサイクルのカーボンニュートラル及び3Rの推進・質の向上に向けた検討会」に出席し、破砕業としての意見を発信。

(3)破砕業におけるGHG排出に関する環境省の施策への協力。

(4)ASRの差配状況、再資源化施設の受入れ状況の把握。

<委員会開催> (2回)

◆2023年度第1回自動車リサイクル法委員会(2023年7月26日)

(1)日本自動車リサイクル高度化財団(JFAR)からの破砕事業者宛てアンケート依頼について

(2)板硝子協会との意見交換会の結果について

(3)環境省・MRA(エム・アール・アイ リサーチアソシエイツ)からのGHG排出関連調査依頼に関する協力依頼

(4)資源回収インセンティブ制度の検討状況について

◆2023年度第2回自動車リサイクル法委員会(2024年3月21日)

(1)日本自動車工業会による「資源回収インセンティブ制度」説明会

(11) 港湾委員会

<委員会活動・事業>

- (1)世界的なカーボンニュートラルの流れにより鉄スクラップの需要が増加する一方で国内では人口減やドライバー不足問題が顕在化しており、港を活用した荷役に注目した情報収集と議論を行った。
- (2)リサイクルポート推進協議会内の国際資源循環部会と合同で会議を開催し、国土交通省港湾環境政策室の青山室長によると講演を行うとともに、今後のリサイクルポートのあり方について意見交換を実施。

<委員会開催> (1回)

◆2023年度第1回港湾委員会(2023年12月19日)

～リサイクルポート推進協議会／国際資源循環部会と合同開催

- (1)国土交通省による講演「リサイクルポートを巡る最新動向～物流の2024年問題とサーキュラーエコノミー～」

(12) 適正ヤード推進委員会

<委員会活動・事業>

- (1)鉄スクラップ業者の一部ヤードにおいて、不適正な保管、操業が発生(条例に抵触する高積みによる崩落の危険性、火災の発生、作業に伴う騒音・振動・粉塵の発生、等々による地域住民からの苦情が多発)。
- (2)不適正ヤード事業者は、法令を遵守しない分操業コストが抑えられ、結果的に材料である鉄スクラップの仕入れを通常価格より高値で設定できる等、適正にヤード運営している事業者との公正な競争が著しく妨げられている状況。
- (3)このような状況に鑑み、2023年5月に「適正ヤード推進委員会」を特別委員会として設置し、工業会として実態を調査するとともに、関係行政機関にヤード運営の適正化に向けた働きかけを行うことにより、取締り等、実効性を高めるためのサポートを行っている。

※対象となる鉄スクラップ業者は、工業会会員・非会員、日本企業・外国系企業を問わない。

<委員会開催> (3回)

◆第1回適正ヤード推進委員会(2023年8月23日)

- (1)開会の挨拶
- (2)メンバー紹介
- (3)各委員、本部からの現状報告(各3～5分を目途)
- (4)経済産業省、警察庁からのコメント
- (5)今後の進め方等

◆第2回適正ヤード推進委員会(2023年11月2日)

- (1)開会の挨拶
- (2)出席者確認
- (3)本部からの報告(製鉄メーカーの注意喚起、各自治体の動き等)
- (4)各委員から最近の状況の報告
- (5)経済産業省、警察庁からのコメント
- (6)その他(今後の進め方等)

◆第3回適正ヤード推進委員会(2024年2月27日)

- (1)開会の挨拶 及び 出席者確認
- (2)本部からの報告
- (3)各委員から最近の状況の報告
- (4)経済産業省、環境省、警察庁からのコメント
- (5)その他(今後の進め方等)

(13) 関係会議

(1)第34回全国大会(九州支部主管)

第34回全国大会は、2023年6月16日(金)にホテル日航熊本にて開催、全国から647名の参加を得て開催した。

(2)2024年新年会

2024年の新年会(本部・関東支部共催)は、1月1日の能登半島地震の発災状況を考慮し、会の名称を新年会に変更して1月11日(木)にロイヤルパークホテルにて開催した。なお、各支部の新年会も、会の名称を変更して開催した。

3. 庶務事項

(1) 会 員(2024年3月31日現在)

正会員	699社(専業683、商社15、海外1)
正会員登録事業所	167事業所(専業131、商社36)
賛助会員	113事業所

(2) 役 員 等(2024年3月31日現在)

会 長	1名
副 会 長	4名
専務理事	1名

理事	3名(会長、副会長、専務理事を除く)
監事	2名
顧問	2名
支部長	7名
委員長	9名
運営委員	19名(含む委員長、以下同様)
財務委員	7名
商社流通委員	12名
業務対策委員	15名
環境委員	11名
国際ネットワーク委員	8名
広報委員	12名
自動車リサイクル法委員	9名
港湾委員	9名

(3) 関係機関への委員派遣

- ①一般社団法人日本鉄源協会
 - i)副会長、理事、監事、運営委員会・需給流通委員会等委員派遣 (会長他)
- ②経済産業省、環境省関係
 - i)経済産業省「産業構造審議会産業技術環境分科会廃棄物・リサイクル小委員会自動車リサイクルWG」委員 (専務理事)
 - ii)環境省「中央環境審議会循環型社会部会自動車リサイクル専門委員会」委員 (専務理事)
- ③国交省「リサイクルポート推進協議会」運営委員 (専務理事)
- ④リサイクルポート推進協議会「国際資源循環部会」部会長、部会員 (専務理事他)
- ⑤公益財団法人自動車リサイクル促進センター 評議員、総務委員 (専務理事他)
- ⑥一般社団法人日本自動車会議所、経済・産業委員会 委員 (専務理事)
- ⑦鉄リサイクル企業年金基金 理事 (専務理事)

(4) 関連団体の活動

- (1)一般社団法人日本鉄源協会

鉄スクラップ関連情報として、年1回「鉄源年報」、3ヵ月に1回「クォーターてつげん」、月1回「てつげん短信」をそれぞれ発行。
- (2)リサイクルポート推進協議会、国際資源循環部会(国交省主管)

静脈物流における港湾(リサイクルポート)の果たすべき機能、特に大型船による鉄スクラップ輸出に向けた港湾インフラ整備に関し調査・検討・提言等を実施(港湾委員会)。2021年3月には国交省より石狩湾新港・整備事業(総事業費92億円)の新規採択を受ける。
- (3)鉄リサイクル企業年金基金

2024年3月末現在で実施事業所数196事業所、加入者数6,893名、受給者数3,178名、運用資産額(時価)約97億円となっており、関連諸事業を推進。

(5) 会員動向

区分	2022 年度末 会員数	入会	退会	2023 年度末 会員数
専業会員	817	6	9	814
商社会員	51	0	0	51
海外会員	1	0	0	1
賛助会員	63	54	4	113
(うち、製鉄メーカー)	(0)	(53)	(0)	(53)
計	932	60	13	979

注: 専業会員、商社会員には登録事業所を含む。

①2023 年度新入会員

●専業会員

< 関東支部 >

株式会社大丸金属 代表取締役 林 弘成

< 関西支部 >

加古川金属工業株式会社 代表取締役社長 原田弘美

株式会社 SMC 代表取締役社長 齊木孝介

株式会社イトウメタル 代表取締役 伊藤千幸

< 中国四国支部 >

有限会社近藤商店 代表取締役 近藤修一

< 九州支部 >

福田金属株式会社九州営業所 所長 北市 亮

●賛助会員

< 中国四国支部 >

アサヒセイレン株式会社 岡山営業所 代表取締役 谷山佳史

●賛助会員(製鉄メーカー)

< 北海道支部 >

日本製鉄株式会社 北日本製鉄所室蘭地区

JFE 条鋼株式会社 豊平製造所

日本製鋼所 M&E 株式会社 室蘭製作所

< 東北支部 >

日本製鉄株式会社 東日本製鉄所君津地区

日本製鉄株式会社 東日本製鉄所鹿島地区

<本部>

日本製鉄株式会社本社
JFE スチール株式会社 第1原料部グリーン原料室
東京製鉄株式会社本社

<関東支部>

日本製鉄株式会社 東日本製鉄所君津地区
日本製鉄株式会社 東日本製鉄所鹿島地区
JFE 条鋼株式会社本社
JFE 条鋼株式会社 東部製造所
JFE 条鋼株式会社 鹿島製造所
合同製鉄株式会社 船橋製造所
朝日工業株式会社 埼玉工場
王子製鉄株式会社 群馬工場
共英製鋼株式会社 関東事業所
東京鋼鉄株式会社

<中部支部>

日本製鉄株式会社 名古屋製鉄所
トピー工業株式会社 豊橋製造所
大同特殊鋼株式会社
共英製鋼株式会社 名古屋事業所
愛知製鋼株式会社
山口鋼業株式会社
中部鋼鉄株式会社

<関西支部>

日本製鉄株式会社 瀬戸内製鉄所広畑地区
日本製鉄株式会社 関西製鉄所和歌山地区
JFE 条鋼株式会社 姫路製造所
ヤマトスチール株式会社
岸和田製鋼株式会社
山陽特殊製鋼株式会社
株式会社中山製鋼所 船町工場
日鉄スチール株式会社
合同製鉄株式会社本社
合同製鉄株式会社 大阪製造所
合同製鉄株式会社 姫路製造所
株式会社神戸製鋼所 東京本社
共英製鋼株式会社 本社
共英製鋼株式会社 枚方事業所
中山鋼業株式会社
新関西製鉄株式会社

大阪製鐵株式会社
大阪製鐵株式会社 大阪事業所堺工場

<中国四国支部>

日本製鐵株式会社 瀬戸内製鐵所広畑地区
共英製鋼株式会社 山口事業所
株式会社宇部スチール
株式会社広島メタル&マシナリー
JFE 条鋼株式会社 水島製造所
日鉄ステンレス株式会社

<九州支部>

日本製鐵株式会社 九州製鐵所八幡地区
日本製鐵株式会社 九州製鐵所大分地区
共英製鋼株式会社 山口事業所
株式会社トーカー
九州製鋼株式会社 佐賀工場
拓南製鐵株式会社
常石鉄工株式会社 若松スチール工場
大阪製鐵株式会社 西日本熊本工場

②2023 年度退会会員

● 専業会員

<北海道支部>

三栄紙料株式会社 代表取締役 西岡淳之

<東北支部>

有限会社小野徳三郎商店 代表取締役 小野久子

<関東支部>

小笠原商店 代表者 小笠原 仁

株式会社ジェーエヌジー 代表取締役 深田寧緯

有限会社諏訪商店 代表取締役 諏訪正明

株式会社ムラタ 代表取締役 盧 光吉

<関西支部>

株式会社 TSUNAMI. 代表取締役 津波健治

<中国四国支部>

津山解体有限会社 代表取締役 寺本 岳

株式会社高木商店 代表取締役 高木佳彦

● 賛助会員

<本部>

ENECHANGE株式会社 代表取締役 CEO 城口洋平

株式会社協伸製作所	代表取締役	木村 心
< 関西支部 >		
株式会社御池鐵工所	代表取締役	小林秀匡
< 中国四国支部 >		
株式会社クリーンテック大阪営業部	部長	柳井昭一

以上